

(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

第9回「四国の骨材に関する研究委員会」WG3.WG4 合同委員会 議事録 (案)

1 日時： 平成 22 年 9 月 29 日 (水) 14:00～17:00

2 会場： 徳島大学 建設工学棟 303 セミナー室 1

3 出席者：

島 弘 WG3 主査 (高知工科大学)、橋本親典 WG4 主査 (徳島大学)、古田満広 (生コン香川工組)、森澤勝弘 (生コン高知工組)、川人潤一 (生コン徳島工組) 新迫東洋男 (生コン愛媛工組)、福池仁志 (徳島県砕石工組)、大塚尋日正 (徳島県砕石工組)、小笠原季男 (徳島県砕石工組事務局) 近藤洋司 (香川県砕石工組)、吉田幸稔 (香川県砕石工組)、福田周一 (愛媛県砕石工組)、岡 寛 (愛媛県砕石工組) 濱本久光 (愛媛県砕石工組)、半沢文好 (高知県砕石工組)、大石一彦 (高知県砕石工組)、

オブザーバー:宮地日出夫 (高知工科大学)、香川浩司 (住友金属鉱山) 寺田、白石泰雄、小泉孝、

以上 21 名

4 配布資料：

9-0 WG 合同委員会 参加者名簿及び委員会次第

9-1 第 8 回 WG 合同委員会議事録案

9-2 複合則を用いた乾燥収縮予測モデルの検証

9-3 「WG4:コンクリートの乾燥収縮に関する対策検討委員会」研究報告

9-4 骨材の岩種の組み合わせによるコンクリートの乾燥収縮低減に関する研究

5 議事

議事に入る前に新たにオブザーバーとして住友金属鉱山の香川氏が紹介され、今回の委員会の傍聴に対して承認された。

(1) 前回議事録案の確認

島 WG3 主査より配布資料 9-1 を用いて、第 8 回 WG 合同委員会議事録案について報告があり、意見が求められた。脱字一字の指摘があり、異議なく了承された。

(2) WG3 配布資料の説明

島主査から、配布資料 9-2 を用いて、複合則を用いた乾燥収縮モデルの検証について、報告がなされた。これについてどこまでをまとめて公表するべきかについて議論した。その結果、今までのすべての実験、及び結果は公表するが写真は削除することになった。

(3) WG4 配布資料の説明

橋本 WG4 主査から、配布資料 9-3 を用いて、研究報告の途中経過について報告がなされた。資料の内容については、急速乾燥収縮試験方法の試験結果、四国内の生コンクリート工業組合での調査結果は全国的傾向とほぼ一致することなど、これまでの委員会での報告と同じものであった。

乾燥収縮低減のための方策に関する実験結果については資料にかかれてあるとおりであるが、この内容をもっと詳しく公表すべきかどうかの意見が求められた。この件については、橋本 WG4 主査としては、詳細なデータは出さないで、方策として可能性についてその概略についてまとめる予定であることが報告された。骨材の入手先や地域の情報を出すことは、本研究委員会の本務ではなく、いろいろな可能性について検討した過程を紹介することが重要であるとの見識で一致した。

今回は、計測途中の実験データであり、最終的な委員会報告は、これらの計測を終わってからまとめることになるとの説明がなされた。

(4) 香川生コン工組の取り組みについて

古田委員から、配布資料 9-4 を用いて、香川県生コンクリート工業組合でまとめた「骨材の岩種の組み合わせによるコンクリートの乾燥収縮低減に関する研究」の説明がなされた。この報告は、委員会報告に資料として掲載することになった。

(5) 今後の活動内容

今後の活動内容について議論したが、特に、意見はなかった。従って、次回の日時は決定せず、全体委員会の指示を待って、最終報告が出される時期に一度開催してはということになった。ただし、堺主査の WG1、氏家主査の WG2 のまとめと、本 WG3 と WG4 との報告とは切り離すことになった。

以上